

令和3年8月23日

泉北環境整備施設組合  
管理者 阪口 伸六 様

泉北環境整備施設組合プロポーザル審査委員会  
(泉北クリーンセンター基本構想策定業務委託事業者選定)  
委員長 高岡 昌輝

泉北クリーンセンター基本構想策定業務委託に係る事業者選定  
公募型プロポーザル審査結果について

標記の件について、優先交渉権者を決定しましたので、審査委員会の審査結果及び講評を報告します。

## I 審査結果

優先交渉権者 : パシフィックコンサルタンツ株式会社大阪本社

審査項目\提案受付番号	A
業務実績等の得点	90/90
企画提案の得点	362.7/450
見積価格の得点	60/60
合計点	512.7/600

## II 講評

本件については、公募型プロポーザル方式により、泉北クリーンセンター基本構想策定業務の委託事業者の募集を行い、1者から応募があり、実施要領に基づき優先交渉権者としての適否を審査した。

優先交渉権者となった「パシフィックコンサルタンツ株式会社大阪本社」は、業務実績が多く、一次審査において高い得点を得た。

企画提案書では、業務実施方針や体制からも、今回の基本構想の重要性を十分に理解しているものと評価した。また、実施スケジュールでは、自治体の運営スケジュールを考慮し、策定委員会の設置や月1回の定例会議の提案など、積極的な支援に関する提案も高評価であった。

特に、業務に関する提案において、脱炭素社会・地域循環共生圏の構築に向けた施

設の活用策について様々な可能性を検討し、独自提案においても、枠にとらわれない、今後の動向に鑑みた提案であり、泉北クリーンセンターの更新事業が新しい廃棄物処理施設の整備事業となりうる内容を含むものであり、高く評価した。

プレゼンテーションは、限られた時間にも関わらず提案内容が要約され分かりやすいものであった。また、ヒアリングにおいても、事業への認識や組合への協力体制等、熱意が感じられるものであり、これまでの業務実績を生かし、本業務を実施することが期待できるものであった。

各委員からは、今回の基本構想の策定にあたっては、本来のごみ処理の観点もおろそかにすることなく、災害対応を含めたごみの適正処理についての取組も期待する。また、脱炭素の観点からは、今後の技術革新をいかに取り入れるかが非常に難しい課題であるが、構成市との連携・情報共有を図りながら、広域でのカーボンニュートラルに向けての基本構想ができることを期待するという意見もあり、今後の取組に対する期待が大きいものであった。

最後に、今回、優先交渉権者に特定された事業者には、業務の実施について組合と十分な協議を行い、今回の審査に携わった委員の意見を反映し、質の高い基本構想の策定業務を確実に実行していただくよう、申し添えます。

### III 審査の経過

審査の経過は下表のとおりです。

日 程	内 容
令和3年	
6月30日	第1回審査委員会
7月 5日	実施要領等の告示
7月12日	実施要領等への質疑受付締切
7月14日	実施要領等への質疑回答
7月16日	参加表明書の受付締切
7月26日	参加資格確認の通知発送
8月 6日	提案書の提出期限
8月18日	第2回審査委員会（ヒアリング、最終審査）

以上